令和5年石橋北小学校 学校運営協議会議事録

令和5年5月|2日(金)|4:00

於 校長室

【本日参加者】I 3名

·学校運営協議会委員(10名) (敬称略)

大塩宗里 青柳庄一 斉藤司朗 竹内美千子 野口文夫

寺内利之 齋藤幸紀 橋本織 齋藤佳代子校長

澤田貴典地域連携教員

·地域学校協働活動推進員 橋本俊明

·事務局 金久保貴子教頭 增渕敦子教務主任

開会

〇任命書交付

Ⅰ 校長あいさつ

・今年度もスタートし、約 | ヶ月が過ぎ、新 | 年生28名も、そして、今年着任した我々教職員も、少しずつ学校生活に慣れてきたところである。昨日(5月 | |日)は、下校時刻に突然の雷鳴となり、急遽、引渡下校となった。今後も常に、子どものたちの命・安全を第一に考え、教育活動に当たっていく所存である。

・さて、多様な現代社会では、従前の地域に開かれた学校から、地域とともにある学校への転換が求められてきている。地域でどのような子どもを育てるか、何を実現していくのかという目標やビジョンを、保護者や地域と学校が共有し、一緒に協働して育むことが大切になってきたからである。

・本校の子どもたちを、地域の力をお借りして、共に育んでいただけますようどうぞよろ しくお願いいたします。

2 自己紹介

3 会長選出・組織

 〈会長〉
 大塩宗里

 〈副会長〉
 青柳庄一

〈環境整備支援部〉 斉藤司朗 野口文夫 〈学習支援部〉 大塩宗里 青柳庄一 〈図書活動支援部〉 竹内美千子 齋藤幸紀 〈防犯支援部〉 寺内利之 橋本織

4 協議内容等(進行・・・会長)

校長

- (1) 石橋北小学校学校運営協議会運営規程について
 - ・本校の運営規程は、下野市学校運営協議会運営マニュアルに基づいて作成されている。
 - ・市のマニュアルの第2条(目的)と本校の第3条(目的)について確認
 - ・市のマニュアルの第6条(学区運営に関する評価)、第9条(守秘義務等)の確認

会長

・市のマニュアルの第2条(目的)と本校の第3条(目的)は、ニュアンスが微妙に違うろころがあるが、学校・地域でともに目標やビジョンを共有していくことが大切である。我々は、地域の住民の代表として北小の教育を進めていきたい。

校長

(2)石橋北小の教育について(学校概要、経営方針)について

【学校目標】:心豊かな子 進んで学ぶ子 健康でたくましい子

【めざす児童像】: 豊かな心をもち助け合う子ども

自ら考え進んで学ぶ子ども 明るく健康でたくましい子ども

【重点目標】

- ・基本的な生活習慣や規範意識を育てると共に、自己有用感や社会性を醸成し豊かな心を育てる。
- ・学びに向かう力の向上を図り、知識・技能を習得し、様々な状況に対応できる思考力・判断力・表現力を育成することによって、確かな学力を育てる。
- ・体力の向上と健康安全の保持増進を図り、健やかな体をつくる。

【目指す教師像】

・子どものために何ができるかを常に考え実践する教師

【石北小の学級数、児童数についての推移】

- ・今年度は、187名、昨年度より6名減。少子化と言われる時代だが200名程度の状態を継続している。
- ・通常学級8学級。特別支援学級2学級。計10学級。5・6年生が2学級である。

【職員の構成】

- ·職員数24名(県費負担職員19名、市費負担職員5名)
- ・今年度は、初任者指導教員が配置されている。全国の小中学校で、約20%の学校が欠員の状態で教育活動にあたっている状況だと言われているが、本校は、その点はクリアしている。現状は、もう少し職員がいると有り難い。
- ・年齢構成も各年代に渡っていてバランスよく配置されていて恵まれている。本年度は、定年退職者0年度になる。今後、60代の職員が勤務することになるため、 状況が変わってくると思われる。

【学校経営方針】

・認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくりに努めていく。学級を基盤として、その学級の集合体が学校であると考える。

【具体策】

- I「心の教育の充実」
- 2「確かな学力の定着」
- 3「粘り強く取り組む力の育成」
- 4「信頼される学校づくり」の推進
- ・本校は教育目標も、「心の教育」を最初に挙げ取り組んでいる。配布資料の学校経営の概要にあるように、「心の教育」において石北小の「当たり前」 I O項目を作成し、実践している。
- ・下野市では、「当たり前のことを当たり前にやろう!!」をスローガンに、ファミリエ下野市民運動を行っている。本校でも、これを受け、石北小の「当たり前」IO項目がある。その中で、特に力を入れたいことを3A運動として推進している。
- ・あいさつができる子、あいての気持ちを考えられる子、あきらめずにがんばる子 この石 北小の当たり前、3 A運動は集会や儀式の度に子どもたちに呼びかけたり、 教室に掲示して常に確認できるようにしたりしている。

(以下、昨年度の取組について、パワーポイントの画像を基に説明)

|「心の教育」について

①あいさつ運動

・3A委員会を中心に取り組んでいる。しかし、子どもたちの実態は挨拶においても個人差がありまだまだの感がある。基本的な生活習慣や挨拶は、小学校時代にできるようにならないと身に付かないと言ってもよい。大人になったら、学力以上に必要なことである。

- ・3年間のコロナ禍で、声を出しての挨拶指導が難しい状況が続き、子どもたちの声が小さい。これから徐々に声が出るように頑張っていきたい。3A委員会を中心に挨拶日本一を目指して取り組んでいるところである。
- ②レインボー班(縦割り班活動)
- ・1年間継続して取り組む班であるため、子どもたちも班の編制を楽しみにしているようである。全校遠足を5月2日に実施(壬生のとちぎわんぱく公園)。1年生を迎える会を兼ねて行った。行事を通して、高学年の活躍と異学年の子どもたちが、互いに、認め合い・励まし合い・助け合う姿をたくさん見ることができた。
- ③田植え
- ・今年も地域の小川さんの田んぼを借りて田植えを実施。本物 (プロ) から学ぶ機会は、子どもたちにとっても大変貴重なものである。
- 4 花壇作り
- ・環境美化委員会を中心に、各学級で活動を進めている。
- ⑤オオムラサキの飼育
- ・理科教育の一環として、理科専科教員が進めている。幼虫からさなぎ、そして羽化して成虫になる様子を子どもたちも楽しみに観察している。
- ⑥ふくべ細エ
- ・昨年度も、協議委員の青柳さんにお世話になり、3年生がご指導いただいた。地域の特産物に直に触れる貴重な体験となっている。
- ⑦消防体験学習
- ・地域の消防団の方々の協力で、消防体験学習を実施した。

2「確かな学力の充実」について

- ・学び合いのよさを実感できる学習活動に取り組んでいる。
- ・個別最適な学び、一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導を実施している。TT指導を英語や算数を中心に実施している。
- ・学習意欲を高めるために、子どもたちの話合いや学び合いのよさを生かした授 業改善に取り組んでいる。
- ・一人1台のタブレットを活用し、子どもたちの発展的な学習に役立っている。
- ・「下野市新聞の日」が年間5回ある。下野市内の全児童・生徒に、新聞が I 部ずつ配布される。児童が新聞に興味をもち、社会状況に目を向けてもらうことと新聞に触れることを大きな目的として進めている。今年度はさらに、下野市から毎日学校図書館に新聞が届き、子どもたちが活用しやすい取組が行われている。
- 3「粘り強く取り組む力の育成」
 - ①あせの日の取組
 - ・今年度も1回目の活動は、縦割り班で除草活動を実施した。
 - ②スポーツタイム
 - ・業間活動を利用して、計画的に体力づくりを行っている。また、体育の授業の始めに、サーキットトレーニングを体力づくりとして取り入れている。昨年度は、体力向上エキスパートティーチャー派遣事業で、ボール投げの指導を受けた。今年度は、走力の向上を図る計画である。
 - ③食育の授業
 - ・石橋中学校の栄養教諭が来校し、食育に関する授業を行っている。
 - ④避難訓練
 - ・第 | 回目の訓練は、火災を想定し、避難経路の確認を行った。自分の身は自分で守るという意識を育てる大切さを学んだ。

校長 4「信頼される学校づくり」

- ①スクールガードボランティアの協力
- ・毎日、児童の登下校を見守っている方々を4月に児童に紹介した。
- ②引渡訓練、火災地震訓練、不審者対応訓練
- ・雷、大雨等の災害時に備え、児童の安全確保のための訓練や、火災、地震だけでなく、不審者対応を想定して実施した。
- ③廃品回収
- ・PTA、地域の方の協力で、年間2回実施した。
- ④職員の研修
- ・授業力向上に向けて、外部講師を招いての研修会を夏季休業に実施した。また、 宇都宮大学の先生を招いて、S&Uコラボ事業も実施した。
- 6家庭教育学級
- ・授業参観の日に、子育て相談をテーマに「家庭教育学級」を開催した。同じ立場の保護者同士が、心を開いて話合いができた。
- ・本校のこれまでの学校経営を受け継ぎ、子どもたち、教職員、保護者と地域が共に伸びる、三方良しの学校づくりを目指している。本校の子どもたちは、学習も生活も、 まだまだ伸びる力を備えている。
- ・「認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校づくり」に努め、学校と家庭、地域が同じ方向を向き、お互いに協力し合い、子どもたちを育てていくことが大切であると考えている。今後ともよろしくお願いいたします。

【令和5年度の取組の様子】・・・今日までの取組について

- ①4月10日、新任式、始業式を校庭で実施。新しい学級担任発表を行った。
- ②4月11日の入学式では、28人の新入生を迎えた。委員の皆さんにも参列いただいた。児童は6年生が参加した。
- ③授業参観:3地区に分けて実施。保護者の方も自然にソーシャルディスタンスを保ち、参観していた。(4月19日)
- ④ロング昼休み:毎週水曜日の昼休みは、清掃活動をカットし、ロング昼休みを実施。子どもたちがのびのびと校庭で遊ぶ姿が見られる。|年生は、遊具で遊ぶ様子が多い。
- ⑤ | 年生の様子: 入学して | 週間。初めての給食は、毎年恒例のカレーだった。前向き給食でいただいている。
- ⑥避難訓練: I回目は、火災を想定し、避難経路、非常扉、避難場所の確認を行った。(4月25日)
- ⑦あせの日:レインボー班(縦割り班)で校庭除草を実施。どこにカメラを向けて も黙々と草を取る姿が見られた。(4月27日)
- ⑧全校遠足:毎年、壬生とちぎわんぱく公園にて開催。学校と公園をバス3台でピストン輸送している。当日は I 年生を迎える会も同時に実施している。ウオークラリーをレインボー班毎に行い、各場所で、ゲームやクイズに参加し、時間もポイントに加点されるなどの工夫をしている。6年生が、公園の地図を保存したタブレットを持ち、班のメンバーで協力しながら園内を回った。最後に、I 年生に校歌の歌詞カードをプレゼントした。(5月2日)
- ⑨田植え:小川さんの田んぼで全校児童が田植えを実施。3・4年生、2・5年生、1・6年生のペア学年で協力して行った。田植えが初めての1年生と手を繋いで、6年生がしっかりサポートするなど微笑ましい姿が見られた。(5月9日)
- ⑩ | 年生の様子:生活科の学習で、朝顔の種まきをした。初めての水やりも朝顔のお父さん、お母さんとして頑張っていた。

- 会長 (3)質疑
 - ・学校長から、教育目標や、学校の様子や児童の実態を細かく説明していただきました。
 - ・委員の皆さんからの感想や質問でもご意見を聞かせてください。
- 委員 ・北小の挨拶の声が小さいと以前校長に伝えたが、それは、我々大人側にも問題があるのではと思う。大人が心がけて声を出す。また、遠くにいるときには手を振る等、子どもたちに示すことが大切であると思う。自治会でも進めていきたい。
- 校長・コロナ禍の3年間、子どもたちも我々も、声を張る機会がなかった。今後の教育活動の中で力を入れていくことになるので、温かく見守っていただきたい。
- 会長・委員の中にも自治会の代表になっている方もいます。心して努めていきましょう。
- 委員 ・現在スクールガードをしている。登下校の際、子どもたちには、話をしないよいうに 学校では指導していると思いますが、子どもたちの様子を見ると、登校と下校ではず いぶん違います。朝は、一列に並んで歩いているが、下校は、開放された気分になる のか話したい様子です。上原地区を担当しているが、通学路が畑道を通るため、下校時は、花を摘んだりバッタを捕まえたりしながら、子どもたちは、とても楽しそうである。
 - ・スクールガードとして、子どもたちの様子を見守りながらメイン道路では、しっかり 安全に気を付けて歩くよう声かけをしています。
- 委員 ・北小の学区は、道路の幅が狭いが、警察との連携などはどうなっていますか。
- 教頭 ・毎年、児童の通学路に関する要望を市に提出しています。少しずつではあるが、グリーンのラインが引かれるようになってきています。引き続き要望をしていきます。
- 会長 ・グリーンラインが引かれているのを目にします。道幅が狭いためか片側にしか引いていないので、反対側を歩く際、どうしても左側歩行になってしまう。歩行者は右側歩行ということからすると、紛らわしいと感じることがあります。
- 委員 ·現在、給食の時間はどのようになっていますか。
- 校長 ・今のところ現状維持です。前向き給食を行っています。
- 委員・マスクの状況はどうですか。
- 校長 ・各自または各ご家庭の判断です。但し、調理実習や給食の配膳の時は、通常通りマスクを着用しています。
- 委員 ・挨拶について、家では、大きな声で挨拶をすると、声が大きいと注意されます。今日 の話合いで、大人が自信をもって挨拶をすることが大事であると改めて感じました。
- 委員 |・本校のホームページの更新が遅いと感じます。楽しみにしている保護者もいます。
- 委員 ・ホームページの更新は、他の業務をしながらとても負担である。一人に任せるのも 大変である。よく話合いをしていくことが大切です。

会長

- ・ホームページに 関 心があるということは 、それだけ 学校に 関 心があるということで すね。
- ・学校と地域との連携が大切という話が出ましたが、地域学校協働活動推進員の方 の話を伺いましょう。

- 地 域 学 校 |・学 校 運 営 協 議 会 を 設 置 している 学 校 をコミュニティースクールと呼ん でいます。子 協 働 活 動 | どもたちの 健 や か な 成 長 を 願って 進 め て いくことが 大 切 で す 。 教 職 員 の 欠 員 が 小 学 推進委員 | 校では2割、中学校では、25%と言われています。下野市でも欠員がある学校があ る状況です。現状はとても大変な中で、より良い教育活動を子どもたちに進めていく ためには、やはり地域との繋がりが大切になってきます。
 - ・北小は、長年の協力体制がしっかりとできています。また、地域と学校をコーディネ ートできる方も揃っていますので、さらに地域と学校をコーディネートできる組織を作 っていただけると良いと思います。それによって、子どもたちが地域の行事に参加し て、地域も活性化していくと思います。
 - ・これからは、より幅広い地域の方に参画していただき、地域全体で子どもたちの学 び、成長を支えていくという考え方で取り組んでいく。そして、地域住民と学校が相 互に連携協働して学校づくりをしていき、学校を核とした連携を構築していただきた
 - ・学校ホームページの更新について意見が出ましたが、地域の方を活用するなど、是 非開拓してほしいです。是非、学校運営協議会の皆様が、地域のプロフェッショナル の方と学校を繋いでいただけると有り難いです。

会長

・他の学校では、教育目標は、知・徳・体の順が多いですが、北小は、徳・知・体と、 徳が先に唱われているのが素晴らしいところである。さらに学校経営方針ということ で、教育目標と同等の立場に地域との繋がりをもってきているところが素晴らしい。 これからもますます充実させていけばもっと素晴らしい学校になっていくと思います。

教員

地域連携|・本校の読み聞かせボランティアが、今年度不足しています。地域の方でどなたか参 加してくれる方を探しています。

委員

- ・保護者に声をかけてみてはいかがですか。
- ・現 在、本 校 の 読 み 聞 きせ ボランティアをしてい ます が 、 他 の 学 校 で も 行って います ので、そこで声かけすることもできます。実際、本校の保護者として、読み聞かせボラ ンティアに参加するようになった経緯もあります。是非、学校からも保護者に呼びか けてみてはいかがですか。

教員

地 域 連 携 |・3 年 生 で は 、 ゆうがお 栽 培 に 挑 戦しているところで すが 、 わらを 敷 きたいと考えてい ます。わらをいただける方を紹介していただけますか。

委員

・農家からいただいたわらがあるが、直接農家に声かけをするとよい。

会長

(4)承認

・石 橋 北 小 学 校 学 校 運 営 協 議 会 運 営 規 程 と 石 橋 北 小 の 教 育 に つ い て 説 明 が あ りま した。皆さんのご意見を伺っていて、委員の皆さん、異論は無いと言うことで宜しい でしょうか。

委員

・承認

校長

・承認していただき有り難うございました。

(事務連絡)

教頭

・学校運営協議会債権者登録申請書の記入について

〇次回の予定

・第2回: I I 月22日(木) ・第3回: 2月 9日(金)

閉会